

かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)

電話 66-1311
FAX 66-1314



陶山分教会

(8月14日撮影。昭和44年、現在地〔山陽道篠坂PA付近〕に移転)

立教179年
8月号



除草ひのきしん

青年会笠岡分会では、毎月恒例の有志ひのきしん隊を実施した。7月はまず、8・10・11日の3日間、延べ7人が東城分教会に出動。家財道具搬出や瓦下ろしなどの教会解体作業を、広島教区災害救隊と共にを行った。
続いて19日には、皆部分教会に出動。教会敷地内の除草を7人で行った。この日は、島根方面からの参加者もあり、敷地は半日程できれいに整備された。

2ヶ所で「有志ひのきしん隊」実施

青年会



「子育て」の大切さを話される

育成部(吉岡壽部長)では、7月21日祭典終了後、会議室にて午後1時15分から「よふぼく勉強会」を開催した。「子育て」をテーマに講師の枝廣隆文東福山分教会長は、医学博士の「心と身体の話」から話しを起こされ、明るい家庭の中で、子供を育てる事の大切さを話された。そして、昭和59年

よふぼく勉強会開催

テーマは「子育て」

7月月次祭後

育成部

から道一条となる中に、長女(5才)の身上、姉の子の身上、また重なる身上事情の中に心倒さず、にをいがけおたすけに一条に通る中に、現在は繋がる子供達は真摯に教会に勤めていると、懇切にお話しされた。その後、質疑に応えられ午後2時に終了した。

「テッチャン

シアター」開催

7月月次祭後

少年会

少年会笠岡団では7月21日(木)大教会祭典終了後、「テッチャンシアター」を開催させて頂きました。

今回の担当は、トラ君(少年会委員、中村剛史先生)と上原宏恵先生です。子供達と一緒にジャンケンゲームをして遊びました。

ジャンケンというのは道具も何もいらずに単純なようですが、「勝ちたい」という心理が働いて、すぐみな一生懸命になります。

二回戦ともなると、トラ君も心得てちよつとタイミングをはずすと、子供たちがみんな負けてしまうという場面



トラ君とジャンケン遊び

もありました。後には、おさがりのおやつを頂いて解散しました。

わずかな時間の「テッチャンシアター」ですが、子供たちの間にも広がっているように思います。

次回も夏休み中ということで、8月21日を予定しています。

では皆さん、大教会で待っています。

(少年会委員 丸山哲子)



笑顔で記念写真

英語講習会の魅力は何といっても海外からのネイティブスピーカーと過ごす時間の中で、生の英語に触れ慣れ親しむというところだと思います。今年
はカナダのバンクーバーからアンデ
イー国領先生(25歳)がゲストとして笠
岡を訪れた。今年は例年と違い芳井の
学習センターで1日目が行われた。下
は6歳から(特別枠)上は72歳までの幅
広い年齢層が一同に介して英語を使っ
たゲーム、会話などを学習して時間を

第74回英語講習会開催
8月7日〜8日
海外部

すごし、夕方から川遊びとバーベキ
ューで楽しんだ。2日目はそれぞれの
グループに分かれ、スタッフと共に英
語スキットを課題にしたグループワー
クをし、それを発表した。少人数なが
らゲストによる英語での講話やテー
ブルマナーの勉強を有意義に過ごした。
暑く多忙な中にも関わらず寄って下
さったスタッフの方々、1日目の場所
でお世話になった芳井分教会の方々、
テーブルマナーの勉強に食事を作って
下さった婦人会の方々に書面を借りて
お礼を申し上げます。有難うございま
した。

(海外部長 上原志郎)

学修高校の部開催
8月9日〜15日
学担

全国各地の道につながる高校生が親
里にっどい、1週間の合宿生活を通じ
て仲間と心を通わせ、信仰と友情を育
む「学生生徒修養会・高校の部」が、
8月9日から15日まで開催され、笠岡
からも6人の高校生が受講した。
受講生は、レクチャー、ひのきしん、
おてふり勉強などを通じて教えを学ん



だ。また、受講回数に応じて分けられ
た回生別のプログラムには、ワークシ
ョップ、十三峠越え、神名流しなどが
実施された。受講生は仲間と共に教え
を求め実践し、親里でかけがえのない
時間を過ごした。



詰所前でニコリ!

・原・稿・募・集・

内 容
字 数
寄 稿 先

①小随筆 ②教会・布教所の独自の活動の紹介 ③俳句・和歌・川柳
④教会行事開催後の報告記事 等々
1000字前後(800字~1200字) 題名・所属教会名・氏名
を明記して下さい。俳句等は一句からでも結構です。
下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿下さい。
郵 便：〒714-0066 岡山県笠岡市用之江377
FAX：0865-66-1314
メール：**tenkasa@yahoo.co.jp**
尚、原稿はお返し致しませんので、予めご了承下さい。



「こどもおぢばがえり」
を振り返って

「笑顔ひろがれ！ たすけあい」をテーマに7月26日に開幕した「教祖130年祭こどもおぢばがえり」は例年より1日長い8月5日まで11日間にわたって開催されました。

今年も天理教少年会が発足して50年という節目の年、又、「子どもの教祖130年祭おぢばがえり」という旬の声に、少年会としてなんとか応えさせていたであろうと2コースの特別便を実施させていただきました。

連日、3度を上回る厳しい暑さが続く中、各会場には元気な子供たちのとびつきの笑顔があふれていました。

大教会では各ブロック・教会単位での帰参が次々と続き、詰所は連日、明るく元気な子供たちの姿が見られました。

今年も育成部による朝のおつとめ・目標発表・ラジオ体操から一日がスタートし、また毎日夕方5時より育成会長さまより帰参の隊に感謝状が手渡されました。

恒例の模擬店は4回開催され、定番

のフライドポテト・かき氷・射的・スパーボールすくい・輪なげに、今年は新メニュー「フランクフルト」も好評で、夕方のひとときを友達同士で楽しんでいました。

また「むつみ鼓笛隊」は本隊・福山・高屋の3隊が日頃の成果をお供え演奏しました。

今年も大過なくつとめ終えさせて頂けたことに感謝いたします。

また、来年もおぢばに帰ってきた子供たちに喜びを一つでも多く持つて帰ってもらえるようにと思います。

こどもおぢばがえりに当たり、大勢の皆様のお力添え、お心寄せをいただきましたこと心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。◎

(少年会団長 武内正美)

談話室



鼓笛のはじまり

東悠分教会 田 林 美智子

それは、昭和28年本部少年会より2人の講師を迎えて、岡山教務支庁で幼

少年指導者短期講習会が開かれました。続いて、おぢば合宿で甲種、乙種講習会、福住の山中で野外講習会が開催されて、全国から大勢の受講者が参集しました。

そして、昭和29年「おぢば帰り子供ひのきしん団参」が提唱されました。何しろ初めての団参列車で、各係員リーダーは準備もろもろで大変でした。車中では、歌唱指導、ゲームに夢

中でトンネルが近付くと早く窓を閉めてー。シュシュポップの黒煙をもくもくとほく機関車でした。トンネルを抜けると競って窓を開ける、それは田舎から参加した子供達にとっては、見

るも聞くも珍しく、初めての汽車の旅、何とも愉快で楽しいひと時でした。

列車が丹波市駅(昔は国鉄と近鉄の駅が別々)に着くと詰所から修養科生さん達が八八車を引いて迎えに来て下さり、ワイワイ、ガヤガヤと賑やかに詰所入りをしました。

そして神殿参拝をした時は、おぢばを知らない子供達を、今こうして無事元気につれ帰らせて頂きました。

その御礼と大きな喜びは、募集の苦労も吹きとんで、教祖……と心の中で思わず叫びました。あの時の感激と雲

一つないあの真つ青な大空は今でも忘れられません。

当時は特別にお楽しみ行事もなく、モッコかっいで土持ちひのきしんでした。何回往復したことが、皆々汗ビッシヨリの笑顔でもとても楽しそうでした。

続いて、昭和30年1月末、3泊4日河原町詰所に128人が合宿して、第1回鼓笛バンド指導者講習会が開催されました。

天理スクールバンド初代指導者の矢野清先生、助手の小松崎、西村両先生のご指導のもと、それはきびしい講習会でした。

何しろ持った事もない楽器やバチ、各大教会の青年さん、女子青年、その中には和服姿の女性も混じって居られました。

講習会の最後の仕上げは、黒門を出発して親里大路、奈良街道とご本部をとりまく大路をパレードしたので、落後しない様に必死の思いでした。

短期間でドラムマーチ、70年祭の歌、おやがみ様、ひのきしんの歌等をこなして、パレードはドラムマーチと70年祭の歌でパレードしたので、常に前に

後ろにと矢野先生の目が光ります。足並みも一糸乱れず本当に終始緊張の連

続

続でした。笠岡からは、今は亡き藤井憲男、虫昌平の両先生と私の3人参加でした。

そして大教会に帰り四代上原郁夫会長様に報告し、当時の会計三島順一先生に何としても最低数の楽器一式を購入して頂きたいと懇願致しました。

やがて楽器が届き矢野清先生にご無理を通し笠岡に来駕頂いたので。後日西村先生にお会いした時に、矢野先生がよく笠岡へ行かれたと思いますよ、他の大教会より次々と依頼が有つても何処へも行かれなかった由、聞かせて頂きました。笠岡が熱心にいち早く手を打ったのが功を奏したと思います。

さて、大教会では第2回おちば帰りこどもひのきしん団参にそなえて、6月中旬に55人の受講者による2泊3日の講習会が開かれました。歌唱指導、教話はもとより鼓笛が主体でした。城山公園を練習場とし、タンタン、ドン・ドン、ピーピーと皆々真剣そのものでした。鼓笛隊の編成、実現をめざして懸命に練習したものです。今、ふり返ると教祖70年祭、おやさとしんへと教団全体が勇みに勇み燃えていて、笠岡も一丸となって前進、前進でした。

話しが前後しますが、その前に笠岡女子青年会が結成され、発足してしました。(上原せい子奥様御こし入れ前のことです)

本部婦人会の錚錚たる講師(平野なつ・梅谷はるえ両先生)をお迎えして盛大につとめさせて頂きました。

三代会長夫人くに多奥様が女子青年の育成の重要性に大変心つくして下さって居ました。そこへ鼓笛が入り以後婦人会ひのきしんの先頭に女子青年が立ちドラムマーチと70年祭の歌で笠岡詰所の門を賑やかに出発して現場へと向かいました。

この頃から「せい子奥様」は笛を吹いて下さり小太鼓は私でした。タン／＼タン／＼タン／＼タツタツタタンと60余年も前の事ですがその当時の様子が鮮やかによみ返って参ります。

その元一日が笠岡むつみ鼓笛隊と部内各々の鼓笛隊の誕生となり、今に至る栄光の道を思い感慨無量の作今でございます。

世の中が大きく変動して行くなか、神意を問いつつ正しい信仰の道を共に歩み、神人和楽の世のさまを祈念して止みません。当時の事を思い出すままに書きつらねてみました。

6月に英語修養科を修了したタンザニアのエディナ・キヴヨさんから笠岡の人達にメッセージが届きました。翻訳をして掲載いたします。

～タンザニアからの便り～

Jambo! Konnichiwa!

修養科での三カ月の生活を終え、タンザニアに戻る途中、イスタンブール空港で17時間の乗り継ぎの後、飛び立った直後にテロ爆発に出会い、間一髪で逃れることが出来た。奇跡としか言えない御守護に心から教祖を感じ、家族の待つアルーシャに戻りました。改めて私を修養科に行かせてくださり、サポートして下さった「笠岡」の皆さんに私はもちろん、私の家族共々お礼申し上げます。

わたしの人生は修養科に行かせてもらえたお陰で良い方向へ変わっています。修養科の三カ月で学んだ親神様・教祖の事を今、私は身近な人々から伝えさせて頂いています。こちらの人々から天理教の事をよく質問されます。そしてこのアルーシャでいつこちらの人達が心一つにおつとめできる場所、天理教の教会ができるかと...

私はこちらに帰ってから教えて頂いたことをおつとめで良い人生へと導いてくれると、毎朝・晩私の家でおつとめをつとめています。この機会を与えて下さった大教会長様、家族のように受け入れて下さった笠岡全ての皆さん、本当に有難うございました。私はもっと天理教の勉強をしたいです。そしてタンザニアと日本の架け橋になり、教祖のよぶぼくとして働かせてもらうことを夢見しています。

Arigatou gozaimasu.

《翻訳文責：海外部》

教祖130年祭こどもおぢばがえり 笠岡詰所クイズの問題と答え

凡例：㊦クイズ【答え〔解説〕】

中学生

 ①ある県に住んでいる人は、ハンガーを決して使わないといいます。その県はどこ？
【福岡県〔服を掛けん〕】

 ②おじいちゃんとする球技は何？
【ソフトボール〔祖父とボール〕】

 ③1日には2回あるのに、1年は1回しかないという、不思議なモノがあると言う。それはいったい何？
【ち〔いちにち(ち、が2回) いちねん(ち、が1回)〕】

 ④いつも何かにチャレンジしてる国はどこ？
【朝鮮〔挑戦〕】

 ⑤八百屋さんがトラックにピーマン、トマト、ナス、きゅうりを積んで高速道路を走行しています。急カーブであるものが落ちました。さて、それは何？
【スピード〔カーブを曲がる為にスピードを落とした〕】

 ⑥ベテラン俳優と、新人俳優がお茶をしました。さて、二人のうち茶柱が立ったのはどちらでしょう？
【ベテラン俳優〔縁起(演技)が良いから〕】

 ⑦拾ったのにもかかわらず、お金を払わないといけないものとは何？
【タクシー】

 ⑧透明人間は、履歴書の職業欄にいつも何と書くでしょう？
【無職〔無色〕】

 ⑨晴れの日、雨の日、曇りの日、バッターの打率が一番低くなるのはどの天気の日？
【雨の日〔雨天(打てん)〕】

 ⑩ドキはドキでも、はかれるドキって何？
【分度器】

小学校高学年

 ①「かき」は「かき」でも、火事のとくに役に立つ「かき」って何？
【消火器】

 ②反対からでもちゃんと読める紙って何？
【新聞紙〔しんぶんし〕】

 ③ナイスなスイカは、何になる？
【イカ〔無いスなスイカ〕】

 ④歯を磨くことがキライな野菜って何？
【白菜〔歯くさい〕】

 ⑤関西弁を話す犬の種類は何？
【ちやうちやう〔関西弁〕】

 ⑥フランスのパンはフランスパン、では日本のパンは何パン？
【ジャパン】

 ⑦いつも修理が必要な調味料とは何？
【こしょう〔故障〕】

 ⑧カメとラクダとサイが、買い物をしています。何をかうのでしょうか？
【カメラ〔カメ・ラクダ・サイ(カメラ下さい)〕】

 ⑨家の中で怖い話をするのはどこ？
【階段〔怪談〕】

 ⑩いつも人のことを呼びつける魚は何の魚？
【コイ〔来い!!〕】

小学校低学年

 ①ばい菌をやっつける「けん」ってどんな「けん」？
【せっけん】

 ②食べると安心するケーキって何？
【ホットケーキ〔ホッとケーキ〕】

 ③いつも気合いの入ってるお魚って何？
【エイ〔エイ!!〕】

 ④冷蔵庫の中にいる動物は？
【ゾウ〔冷ゾウ庫〕】

 ⑤クリはクリでもとても驚いているクリってどんなクリ？
【びっくり】

 ⑥口から出てくる「くび」って何？
【あくび】

 ⑦らっぱはらっぱでも、広くて走り回れるらっぱって何？
【原っぱ】

 ⑧とられてしまったのに、笑っているものって何？
【写真】

 ⑨サツはサツでも、貰うとつい返しちゃうサツとは何？
【あいさつ】

 ⑩おりはおりでも、冷たいおりとはどんなおり？
【こおり】

立教百七十九年 七月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちやんぽん	笛	おつとめ				てをどり			地方	役割 区分	講話	祭主	扨者		
									大教会	上原	吉岡	大教会	田中	門中	門脇						今川	杉原
今川	上原	虫明	中村	森本	笹尾	門脇	杉原	今川	門脇	田中	大教会	吉岡	上原	大教会	横山	谷内	佐藤	田中	大教会	谷内	三島	
佐智子	順子	好美	義太郎	本忠	正治	元教	原博之	川昌彦	郁子	ますみ	奥様	繁道	繁道	会長様	逸郎	伸自	道孝	隆之	會長様	伸自	渉	
谷内	三島	佐藤	岡崎	森本	山田	高木	浅野	武内	高木	岡崎	内海	山野	上原	田中	内海	中島	中村	九月	指	山田	佐藤	
美知子	照美	香苗	真一	忠善	敏教	昭祥	明教	清明	孝子	豊子	安子	弘実	志郎	隆之	史郎	誠治	邦義	講話	方	敏教	真孝	
中村	岡崎	森本	浅野	田林	虫明	渡邊	赤木	上原	室悦	横山	武内	吉岡	三島	中村	佐藤	上原	吉岡	後	井筒	田敏	真孝	
初美	和美美	富美子	野明教	林久嗣	明立生	邊隆夫	木素志	原繁次	悦子	山小智	内正美	岡誠一郎	島渉	村剛	藤真孝	原浩	岡壽	半	梅夫	教	孝	
																			先生			

大教会だより

◎教人講習会(後期)

立教179年8月10日終講
稲倉 北川 和成

◎本部食堂ひのきしん

自 立教179年7月16日
自 立教179年7月25日
自 立教179年7月26日
自 立教179年7月31日
至 立教179年8月10日
至 立教179年8月11日
至 立教179年8月15日
至 立教179年8月16日
至 立教179年8月20日
至 立教179年8月20日

◎直属ひのきしん特別隊

自 立教179年8月6日
自 立教179年8月10日
自 立教179年8月11日
自 立教179年8月15日
自 立教179年8月16日
自 立教179年8月20日
自 立教179年8月20日
自 立教179年8月20日
自 立教179年8月20日
自 立教179年8月20日
自 立教179年8月20日

◎こどもおぢがえり

笠岡 岡崎 佳夫
福富士 藤井 正仁
福東 藤井 保人

詰所受入ひのきしん

東福山 枝廣陽子
稲倉 藤井宏一
稲倉 森敬子
照雲 雜賀元生
久福 佐藤憲美
久福 鍵平美
上下 山野なつ
上野 桑本和子
甲井 山田敏教
神驛 渡邊孝信
神驛 渡邊泰子
*その他、有志の方々、長期間、誠に有難うございました。

笠岡の教友が選ばれ掲載されてきましたので転載いたします。(敬称略)
▼『天理時報』
▽7月31日付「時報歌壇」
・海松ヶ岡④ 池田広子さん
自 転車でゆく目の前に飛び出して 鮎よこぎる餌をくわえて
・芦品④ 金谷眞佐代さん
詰所にて娘とともに入浴す 何とひさびさ五十年ぶり
・福満④ 福島悦子さん
生れし児の寝顔を覗くこちちする 日毎に太る西瓜見廻り

▼表紙写真(陶山分教会提供)



七月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様のご守護のままに今は梅雨も明け夏本番を迎えさせて頂きました 親神様には常に大難は小難は小難は無難にとお連れ通り頂いておりますが 今年の梅雨は各地で豪雨が発生し被害も出亡くなった方も出ました事は誠に残念でなりません 私共は被害を最小限に留め犠牲者が出ないようにと朝夕にお願いすると共にこの世は親神様の御守護の世界であり只一つ自分のものである心一つが親神様の思召に適う事が大切と一人でも多くの人に伝えるべく日々は「つとめとさづけ」を通して「にをいがけおたすけ」にと勤め励まして頂いております 特に今は目前に迫りました教祖百三十年祭こともおちばがえりの募集の上に精一杯努めさせて頂いております

その中にも今日の吉日はこれの笠岡大教会の御祭日でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同喜び感謝の心一杯に喜び勇んで坐りづとめてをどりをつとめて七月の月次祭を執り行わせて頂きます 御前には今日の日を楽しみに暑い中も厭わず寄り集いました道の子供達が 相共にお歌を唱和し日頃のご高恩に改めて御礼申し上げ 世界一列助けたいとの親心にお縋りする状を御覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて教祖年祭の年だからこそ次の塚へ向かつての人材の育成が急務でございます 今年のこともおちばがえりは例年より一日長く務められます 年祭に向かつて培ってきた成人の歩みを人材の育成に繋げて行きたいとの親の思いに応えるべく募集の上を注いでいきおちばがえりした子供達にしっかりと親心に触れて貰えるよう努めさせて頂きますので 事故怪我等の無いようお連れ通りの程をお願い申し上げます 又続いての学生生徒修養会高校の部や 大教会での英語講習会・少年会のサマーキャンプ・教会お泊まり会等 夏休み中の行事を通じて子供達の育成をすべく声掛けをして行く所存でございます 更には又 盆休み等休日に親元へ帰る人々に 親孝行出来る有り難さや兄弟同士助け合う事が 親孝行に繋がる事を伝え 一列兄弟の助け合いが出来る人に育てて行く所存でございます

何卒親神様には暑い中だからこそ教祖のご苦勞を偲び たすけ一条に邁進する皆の誠実の心をお受け取り下さいまして 万たすけの上により一層事由のご守護を賜り次々と不思議自由のご守護に浴する人が現れ御恩報じをする人が弥増して お望み下さる陽気づくめの世の状に一日も早く立て替わりますようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます



この夏、こともおちばがえり少年ひのきしん隊の宿舎で「お話当番」を勤めることになった。講話のタイトルは「ちば」、その日の目標「親神様にお祈りします」に沿って10分くらいで分かりやすく、できれば面白くとのこと。そりやあ無理だわと真っ先に思った。しかし、おちばで伏せ込む少年会員に対する大切な理の話である。何日かかけて原稿を書き、およそ30人近い少年会員たちに真剣に話をさせて頂いた。まあ、講話の出来の自己採点は「可も不可も無し」で、少々物足りなかった。ところが神様は私に思いがけないプレゼントを用意してくださいました。かつて教養掛を勤めていた時、母親と共に1才の女の子が修養科に来ていた。その子と14年ぶりに再会したのである。ワンワンとかニャオとか教えて可愛がっていた女の子が、高校生としていきなり目の前に姿を表したのであるからとても不思議な気持ちだった。様子を眺めていると、ニコニコとして良く動き、おちばが大好きという気持ちが溢れている。わけも分からず母親と共に過ごした修養科生活だっただろうけど、教祖はちゃんと、彼女の魂に徳を授けてくださったっていったんだなあとしみじみ思った。